

Bibliophiles

ビブリアファイルズ No.9(2018年度)

新着図書案内・お知らせ 西宮東高校図書館



海外ミステリーの古典的名作、ぞくぞく入ってます!

ヒッチコックの映画でも有名なサスペンス小説の古典、デュ・モーリアの『レベッカ』。主人公の「わたし」はレベッカが亡き後、後妻として広大な屋敷に嫁いできたのですが、実はその屋敷には大きな秘密が隠されていたのでした・・・ほかにも、ハードボイルドの古典、ハメットの『マルタの鷹』やチャンドラーの『大いなる眠り』（村上春樹の翻訳）、また本格謎解きのパークリーの『毒入りチョコレート事件』やカーの『三つの棺』なども入りました。

『ブロードキャスト』 湊かなえ

後味のイヤなモヤモヤした読後感のミステリーで「イヤミスの女王」とも呼ばれる湊かなえ。今回の新作は、打って変わって爽やかな青春小説ですので、湊かなえにとっても新境地の作品ですね。内容はズバリ「高校の放送部をめぐる学園小説」ということで、本校の生徒諸君にも身近な題材かも知れません。

なお、阿部寛主演で10月からテレビドラマがスタートする池井戸潤の『下町ロケット ゴースト』も入りました。

『学校に行きたくない君へ』 全国不登校新聞社 編

「学校に行きたくない」という気持ちを持ったことがありますか?例えば、夏休みが終わるころ or クラスの生徒ともめた翌日 or 苦手な科目の試験の日・・・そんな「学校がイヤになる」時が来たら、この本を手にとってみて下さい。本書は、日本で唯一の、不登校を専門とした新聞が作ったもので、将棋の羽生義治やタレントのリリー・フランキーなど、有名人や学者に不登校についてたつぷりと語ってもらっています。

『「読む力」と「地頭力」がいつきに身につく 東大読書』西岡啓誠

作者は現役の東大3年生ですが、出身高校は歴代東大合格者ゼロの無名校で、しかもそこでも底辺に近い成績(偏差値35)だったそうです。そんな彼が一念発起して勉強し、東大に合格したわけですが、今回、読書方法に関するこの本を出版しました。彼によれば「本の読み方を変えるだけで地頭を鍛えられる」のだそうで、この本では「**検証読み**」「**議論読み**」「**整理読み**」といった、彼独自の頭を良くする読み方を披露しています。

『ある奴隷少女に起こった出来事』 ハリエット・アン・ジェイコブズ

この本は、奴隷制度があった頃の米国を舞台にした実話です。主人公の奴隷少女は幼くして両親と死に別れ、主人からは虐待を受けてしまい、みずからの自由を勝ち取るべく立ち上がる・・・という感動的な内容の自伝です。しかし120年以上前に出版されたこの本は「小説」と勘違いされて忘れ去られていたのですが、このたび「実話」であったことが証明されて米国でたちまちベストセラーになりました。



『A WALK A DAY 365 short walks in New Zealand』 Peter Janssen

夏のニュージーランド語学研修でお世話になっているアルバニー高等学校からの寄贈本です。もちろん英語の本で、本のタイトルは『1日1散歩 ~ニュージーランドの365のお散歩コース~』とでも訳しておきますね。その名の通り、ニュージーランドの風光明媚なスポットを写真と共に紹介してくれています。表紙にはアルバニー高校のみなさんからの以下のメッセージが貼ってあります。「To encourage many students to visit our beautiful country」。

数学科の先生方 choice の 数学関連の本、何冊か入荷しました!

数学科から選ばれた本、まずは『この数学パズル、解けますか?』。「英国最高の数学ライターの一人」と称されるアレックス・ベロスが、数学パズルの二千年の歴史の中から最も面白く、頭を刺激する120問を厳選して紹介するベストセラーです。また、AI(人工知能)について分かり易く解説してくれる『60分でわかるAIビジネス最前線』なども入りました。

『地理女子が教えるご当地グルメの地理学』 尾形希莉子、長谷川直子

甘くておいしい夕張メロン。でもこのメロンがブランドになったのには、地理的な理由があります。夕張の土壌がメロンに向いているだけでなく、土地の狭い山間部なので1個当たりの単価が高い「高級フルーツ」を作るしかないのです。このように、お茶の水女子大で地理学を学ぶ現役学生たちが、全国のグルメを「なぜその土地で生まれたのか」などと地理学的に解説してくれます。

今号のひとこと 意味のないことをたくさんするのが 人生なんじゃよ。

さくら ももこ(1965-2018)

国民的漫画とも言える『ちびまる子ちゃん』から「おじいちゃん」のセリフです。

さくらももこは本名さえも公開しておらず、自分や家族のプライバシーを大切にしました。また彼女は漫画家のみならず、エッセイストとしても活動し、代表作の『ものかんづめ』『さるのこしかけ』『たいのおかしら』は独特のセンスが人気で、いずれも百万部以上の売り上げを記録しました。本校図書館にも上記のエッセイのほか、彼女の作品の多数の蔵書があります。機会があれば、読んでみて下さい。